



公文書条例施行規則・管理規程を諮問

第1回公文書等管理委員会

令和2年度第1回鶴岡市公文書等管理委員会（委員3人・任期3年）が開催されました。

委員長に中村眞一氏（元藤島庁舎支所長、鶴岡市情報公開・個人情報保護審査会委員）、委員長職務代理者に本間勝喜氏（元羽黒高校常勤講師、鶴岡市史編さん委員）、委員に加藤静香氏（弁護士、市行財政改革推進委員会委員）が選任されました。

諮問は、①公文書管理条例施行規則（案）と②文書管理規程（案）についてです。意思決定過程検証はじめに市公文書等は

管理条例の制定経緯について市当局から説明されました。

平成30年度に実施した市文化会館建設に関する第三者調査・検証専門委員から、「公文書管理法の趣旨を踏まえ、経緯も含めた意思決定に至る過程等を検証できるように、文書を適正に作成管理すべきである」との提言や、議会の意見等を踏まえて、令和2年3月議会で条例を議決したことなどが述べられ、条例の概要が説明されました。

特定歴史公文書の利用公開規定見送り

作成した公文書は分類し、保存期間等が設定され、「公文書管理ファイル」としてまとめられ、管理状況を毎年市長に報告。市長はその概要を公表します。

特に第三者委員から、「結論に至る意思決定の過程を説明できる行政文書がほとんど保存されていないから、」

保存期間が満了した文書については、廃棄する文書は市長に報告され、「歴史的に重要な公文書」は市長部局

に移管し、原則永久保存されます。

この「特定歴史公文書」が例外的に廃棄される場合は、事前に市公文書等管理委員会の意見を聞くこととされます。

国の法律や県の条例では、「特定歴史公文書」が広く一般の人が利用できるように制度化されています。

しかし、本市では利用公開について将来の課題とし、規定を見送っている旨が述べられました。

輕易・至急時の扱いなど委員から意見

次に施行規則（案）と、管理規程（案）の説明がされ、委員からの意見では、「事務の処理は、公文書によって行うことが原則だが、原則以外の例示が必要ではないか」、「輕易や至急の際に、電話や口頭以外のメールや電子媒体の扱いはどうか」などが出され、実務では職員の「マニユ

PCR検査数
(11/16現在累計)

- ・市PCRサポートセンター(11件)
- ・庄内病院(35件)

「これからの議会報じくり」を制作して対応し、災害等の緊急時の文書の扱いについて述べられました。

また「合併前の資料や、最長30年保存の資料でも、郷土資料保存の視点からも残して欲しい」などの意見が出され、「合併前の資料は永年保存、合併後に作成された文書は保存期間が最長30年とされている」、「郷土資料館での保存などが考えられる」旨が述べられました。

加藤 一、坂本昌栄市議が傍聴しました。



坂本昌栄議員 加藤一議員

新型コロナ対応・総合計画推進など説明

鶴岡市議会主要事項説明会

鶴岡市議会主要事項説明会が17日開催されました。

説明は、I、新型コロナウイルス感染症への対応について

- ① 地方創生臨時交付金の状況
- ② 地域公共交通維持対策
- ③ 主食用米転換緊急支援

- ④ キャッシュレス促進・消費喚起

- II、行税制改革の推進
- ① 中期財政見直し
- ② 日帰り温泉入浴施設の見直し

- III 総合計画の推進
- ① デジタル化の推進
- ② 新産業集積用地ニーズ調査の追加実施
- ③ サイエンスパークレソナルラボ棟の増築
- ④ 松ヶ岡開墾150年

記念

- ⑤ 鶴岡駅前フーデバーの運営状況
- ⑥ 鼠ヶ関IC整備
- ⑦ 朝陽第五小改築
- IV、その他
- ① 旧鶴岡まちキネの今後の活用
- ② 旧ホテル雷屋解体工事の工期延長など、多岐にわたりました。

これからの議会報じくり

県議長会主催議会広報研修会

山形県市議会議長会主催の「議会報研修会」が12日、尾花沢市で開催されました。山形新聞社尾花沢支社長の玉虫秀明氏から「これからの議会報じくり」について講演がありました。スマートフォンやネットメディアの普及により、(2面につづく)

訓練や火災・救急現場での「気付き」から意見や提案

第14回消防職員意見発表会

第14回消防職員意見発表会が12日、市消防本部で行われ、関係者らとともに市議会から本間新兵衛議長、市民文教常任委員が参加し、日本共産党市議団から菅井巖市議が参加しました。

発表者は入職3年、6年目の若手消防士7人が、持ち時間が各自5分のなかで発表されました。

「防災訓練に若者の参加が少ないことから、意識づけに地域運動会などに訓練要素を取り入れた種目を」

「京都アニメーション放火事件を教訓に、建物内の短時間での避難確保・安全防火区画の設置を」

「地域消防団の訓練啓発に動画共有サービス導入を」

「市民に消防・救急

土木課入札結果（ ）内は予定価格

11月12日入札分
 ・市道松尾今野線防雪柵設置工事（羽黒町後田地内）（入札3業者）
 (株)山田工務店 25,350,000円 (25,539,000円) 工期～3/3/15 (落札率99.26%)

建築課入札結果（ ）内は予定価格

11月12日入札分
 ・令和2年度鶴岡市駅前再開発ビル駐車場消防設備改修工事（末広町15-12及び末広町3）（入札9業者うち1業者辞退）
 山形ニッタン(株)庄内支社 5,400,000円 (5,800,000円) 工期～3/2/19 (落札率93.10%)
 ・切添東公園公衆トイレ改築工事（切添町8）（入札3業者）
 (株)瀬尾工務店 7,250,000円 (7,440,000円) 工期～3/3/19 (落札率97.45%)
 ・大宝地公園公衆トイレ改築工事（大宝寺町9）（入札3業者）
 (株)瀬尾工務店 7,800,000円 (7,940,000円) 工期～3/3/19 (落札率98.24%)
 ・杉の子公園公衆トイレ改築工事（鳥居町14）（入札5業者うち1業者辞退）
 日栄産業(有) 8,400,000円 (8,540,000円) 工期～3/3/19 (落札率98.36%)

教育委員会管理課入札結果（ ）内は予定価格

11月12日入札分
 ・市立豊浦中学校ほか1校特別教室等冷房設備設置工事（三瀬字横町33番地2ほか）（入札7業者うち1業者辞退）
 (有)トータル設備 6,008,000円 (6,090,000円) 工期～3/1/22 (落札率98.65%)
 ・市立藤島小学校ほか1校特別教室等冷房設備設置工事（藤の花二丁目1番地1ほか）（入札7業者）
 (株)山形住設 6,400,000円 (7,030,000円) 工期～3/1/22 (落札率91.04%)
 ・市立朝陽第三小学校ほか2校特別教室等冷房設備設置工事（新形町17番24号ほか）（入札9業者うち3業者辞退）
 荘和設備工業(株) 9,420,000円 (9,620,000円) 工期～3/1/22 (落札率97.92%)

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

11月10日入札分
 ・市集落排水事業 羽黒中央地区松尾1号ほか改良工事（羽黒町松尾ほか地内）
 不調

水道課入札結果（ ）内は予定価格

11月16日入札分
 ・漏水修理等に伴う路面復旧工事(第3回)（鶴岡市全域地内）（入札5業者うち1業者欠席）
 (株)三庄 4,500,000円 (4,528,000円) 工期～3/3/26 (落札率99.38%)
 11月13日入札分
 ・市経年管路更新工事実施設計業務委託（本郷地内）（入札10業者うち1業者辞退、1業者入札書未達のため欠席扱）
 (株)日本水道設計社山形営業所 7,000,000円 (7,790,000円) 期間～3/3/19 (落札率89.86%)
 ・市水道管路耐震化工事実施設計業務委託（羽黒町市野山地内）（入札10業者うち1業者辞退、1業者入札書未達のため欠席扱）
 (株)日本水道設計社山形営業所 4,600,000円 (5,130,000円) 期間～3/3/19 (落札率89.67%)
 ・宝田三丁目地内径150 耗配水管復旧及び仮設管撤去工事（宝田三丁目地内）
 中止



決意を述べる梅木3区候補

比例を軸に、過去にない 取り組みを年内までに 総選挙勝利目指す選挙学校開く

日本共産党中央委員 菅政権に代わり學術
 会選対局の小松崎久仁
 夫氏を講師に14日、総
 選挙勝利をめざす選挙

学校が開かれました。菅政権に代わり學術会議の「任命拒否」問題や、大阪市の住民投票の結果などを紹介し、わが党の奮闘に確信を持ち次の総選挙で東北ブロック2議席を獲得、政権交代を目指す取り組みを呼びかけました。そのために比例を



菅井 巖議員

先などを記入した観光者向け情報シートの導入や、観光ツアーガイド等への救急対応研修の必要性などを提案した、警備第1課救急係の土谷峻消防副士長が最優秀賞となり、地区代表として県の意見発表会へ出場します。

の情報を伝えるSNSの活用を」など、日頃の訓練や火災、救急等の現場体験を通じての「気づき」から、今後の活動への提案や意見が述べられました。審査の結果、観光客の救急事案に遭遇したことからの、持病や連絡

（1面のつづき）

鶴岡市の「市議会だより」について、読み易いレイアウト、簡潔な文章表現などについての評価がありました。この議会報研修会には、鶴岡市議会広報広聴委員として長谷川剛議員、山田守議員が参加しました。

この研修会では山形県内13市の各議会報の紙面作りが紹介がされ、講師からの講評がありました。

軸に、過去のどの選挙にもなかった取り組みを年内まで進めようと呼びかけました。



山田 守議員 長谷川剛議員

「得票目標に見合う後援会ニュース読者をして、

目標に、議会ごとにニュースを発行している、

県内各地の取り組みでは、「毎週1回市議と支部が細かく町内を歩きハンドマイク宣伝し、途中赤旗購読を呼びかけている、

「後援会で議会傍聴も位置づけて取り組んでいる」などの取り組みが紹介されました。また、梅木たけし山形3区候補が決意を述べました。

党市議団5人が参加しました。